基礎科目の教育方針

<table>
<tr><td rowspan="3">基礎科目</td><td>外国語教育科目</td><td>外国語教育は、言語教育を通じて、21 世紀に通用する新しい型の国際人を養成し、国際社会と地域社会の平和的・共生的発展に貢献する人材の育成を目指している。そのため次の諸点を重視する。
1. 国際社会の中で自立した一員として活躍できるよう、コミュニケーションツールとして外国語運用能力を育成する。
2. 自他の文化を理解し尊重する態度を育み、地域文化への関心を高める。
3. 生涯にわたって他者と協同し、自己開発・自己実現を達成するための基礎づくりを支援する。
＊　共通教育が人間教育を中心に展開されるべきと考えている。</td></tr>
<tr><td>健康・スポーツ科学関連科目</td><td>健康・スポーツ科学関連科目（講義・実習・実技）は、身体や健康・スポーツに関する知の再構築と身体機能及び健康の保持・増進を目的としている。
・講義 － 自分の身体や健康・スポーツについての知を再構築する
・実習 － 自分の身体について実感する
・実技 － 自分の身体を動かし楽しむ
これらの教育経験は、社会の一員として自立・成熟し、可塑性を持つ自身を作り上げる重要な時期としての大学において欠くことはできない。健康・スポーツ科学関連科目は、多くの学部・学年で受講することができるように、授業内容を吟味し十分な時間をかけて力りキュラムを作成しており、講義・実習・実技の全てを受講していただきたい。特に実技は、運動経験の維持という点から、大学 4 年間のいずれの時期においても継続しての受講が望ましい。
＊　共通教育の目的は人間力を高めることと考えている。</td></tr>
<tr><td>情報教育科目</td><td>情報教育科目は、学生が自分の課題を思考し、必要な情報源の所在を知り、情報活用に関するマナーを身につけたうえで、コンピュータのハード・ソフトの操作技術を習得し、自分の意見を発信できることを目的としている。そのことを通して情報化社会に生きるためのコミュニケーションツールをもつ実践的人材の育成を行う。
情報教育の基本的内容と教育方針は以下のとおりである。
1. コンピュータの基本知識、その応用と限界、社会における位置づけを理解する。
2. 図書・雑誌、インターネットや各種メディアにおける情報の所在を知り、効率的かつ効果的に検索し活用する技術を習得する。
3. 収集した各種情報やインターネットを使用するにあたってのルールやモラルを身につける。
4. ソフトウエアを使用した情報処理技術を学び、論理的考えに基づく活用を行う。
5. 習得したさまざまな情報をもとに自分の意見としてまとめ、適切な方法で発信するための技術を身につける。</td></tr>
</table>